

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson1 Meeting People

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 自分のことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task)
	<b>A</b> 自分のことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 自分のことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、自分のことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、自分のことや、今自分がしていることについて何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b> 【知識】 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(Share) 【技能】 自己紹介について、動詞の現在形や現在進行形を用いて話す技能を身につけている。(Share)	<b>目標</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく話している。(Share)	<b>目標</b> 自己紹介について、ほかにの人に伝えるために、論理性に注意して詳しく話そうとしている。(Share)
	<b>A</b> 自己紹介について、動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>A</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく話すことができる。	<b>A</b> 自己紹介についてほかにの人に伝えるために、写真や絵を見てアイコンタクトやジェスチャーを交えながら、自ら進んで概要を話そうとしている。
	<b>B</b> 自己紹介について、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	<b>B</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、話すことができる。	<b>B</b> 自己紹介についてほかにの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を話そうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、自己紹介について、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、何とか英語で話すことができる。(または、Bに達していない。)	<b>C</b> 助けがあれば、自己紹介についてほかにの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を何とか話すことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、自己紹介についてほかにの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を何とか話そうとしている。
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 自分のことやほかの人のことについて動詞の現在形や現在進行形を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> 自分のことやほかの人のことについて動詞の現在形や現在進行形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 自分のことやほかの人のことについて動詞の現在形や現在進行形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介について書くことができる。	<b>B</b> ほかにの人に伝えるために、自己紹介とについて書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、自分のことやほかの人のことについて動詞の現在形や現在進行形を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかにの人に伝えるために、自己紹介について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかにの人に伝えるために、自己紹介について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson2 Last Weekend

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去形や過去進行形を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・休日にしたことについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 先週末にしたことについて、動詞の過去形や過去進行形を用いて、伝え合うことができる。	目標	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	先週末にしたことについて、動詞の過去形や過去進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意し、事実と感想を区別して自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	先週末にしたことについて、動詞の過去形や過去進行形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて、伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、先週末にしたことについて、動詞の過去形や過去進行形を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて何とか伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、先週末にしたことについて何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 先週末したことについて動詞の過去形や過去進行形を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して書こうとしている。(Write)
	A	先週末したことについて動詞の過去形や過去進行形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて、論理性に注意し、事実と感想を区別して、自ら進んで書こうとしている。
	B	先週末したことについて動詞の過去形や過去進行形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、先週末したことについて書こうとしている。
	C	助けがあれば、先週末したことについて動詞の過去形や過去進行形を用いて、何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、先週末したことについて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、先週末したことについて何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson3 Weekend Plans

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の表現を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・自分の予定について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b>	【知識】 未来の表現の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 これからする予定について、未来の表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	これからする予定について、未来の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	これからする予定について、未来の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、これからする予定について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、これからする予定について、未来の表現を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、これからする予定について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、これからする予定について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
<b>書くこと</b>	<b>目標</b>	【知識】 未来の表現の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 週末の予定について未来の表現を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	週末の予定について未来の表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	週末の予定について未来の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、週末の予定について書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、週末の予定について未来の表現を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、週末の予定について何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、週末の予定について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson4 A Short Trip

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・したことがあること・ないことについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 現在完了形の意味や働きについて理解している。（Start-Up, Task） 【技能】 今までにできなかったことについて、動詞の現在完了形を用いて、 <del>伝え合おうとしている。</del> A 今までにできなかったことについて、動詞の現在完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合することができる。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく話して伝え合することができる。（Task, Share） A 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく伝え合することができる。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。（Task, Share） A 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。 B 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 今までにできなかったことについて、動詞の現在完了形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合することができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて伝え合することができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、今までにできなかったことについて、動詞の現在完了形を用いて、何とか英語で伝え合することができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて何とか伝え合することができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、今までにできなかったことについて何とか伝え合おうとしている。
	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。（Task） 【技能】 今までにできなかったことについて動詞の現在完了形を用いて、 <del>書けるようにしている。</del> A 今までにできなかったことについて動詞の現在完了形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく書いている。（Write） A ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。（Write） A ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 今までにできなかったことについて動詞の現在完了形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、今までにできなかったことについて動詞の現在完了形を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、今までにできなかったことについて何とか書こうとしている。
	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson5 School Rules

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能や義務などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・してもよいこと・してはいけないことについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 可能や義務などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 規則について、可能や義務などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身に	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、規則について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、規則について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b> 規則について、可能や義務などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、規則について、論理性に注意して詳しく伝え合おうことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、規則について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 規則について、可能や義務などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、規則について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、規則について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、規則について、可能や義務などを表す助動詞を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、規則について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、規則について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 可能や義務などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 規則について可能や義務などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> 留学生にわかるように、規則について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> 留学生にわかるように、規則について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> 規則について可能や義務などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> 留学生にわかるように、規則について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> 留学生にわかるように、規則について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 規則について可能や義務などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> 留学生にわかるように、規則について書くことができる。	<b>B</b> 留学生にわかるように、規則について書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、規則について可能や義務などを表す助動詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、留学生にわかるように、規則について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、留学生にわかるように、規則について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson6 Are You All Right?

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・出来事について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 出来事について、推量などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につける。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b> 出来事について、推量などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 出来事について、推量などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、出来事について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、出来事について、推量などを表す助動詞を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、出来事について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、出来事について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 周囲のものについて推量などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> 周囲のものについて推量などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 周囲のものについて推量などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、周囲のものについて書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、周囲のものについて推量などを表す助動詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、周囲のものについて何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、周囲のものについて何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson7 Things Japanese

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・日本のものを紹介することについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b>	【知識】 受動態の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 日本の祭りや建造物について、受動態を用いて、伝え合う技能を身につけていく。(Task)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task)
	<b>A</b>	日本の祭りや建造物について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	日本の祭りや建造物について、受動態などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、日本の祭りや建造物について、受動態を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、日本の祭りや建造物について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	【知識】 受動態の意味や働きについて理解している。(Share) 【技能】 日本のものを紹介することについて、受動態を用いて話す技能を身につけていく。(Share)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく話している。(Share)	<b>目標</b>	日本のものを紹介することについて、ほかの人に伝えるために、論理性に注意して詳しく話そうとしている。(Share)
	<b>A</b>	日本のものを紹介することについて、受動態の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく話すことができる。	<b>A</b>	日本のものを紹介することについてほかの人に伝えるために、写真や絵を見てアイコンタクトやジェスチャーを交えながら、自ら進んで概要を話そうとしている。
	<b>B</b>	日本のものを紹介することについて、受動態の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、話すことができる。	<b>B</b>	日本のものを紹介することについてほかの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を話そうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、日本のものを紹介することについて、受動態の表現を用いて、何とか英語で話すことができる。(または、Bに達していない。)	<b>C</b>	助けがあれば、日本のものを紹介することについてほかの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を何とか話すことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、最日本のものを紹介することについてほかの人に伝えるために、写真や絵を見ながら概要を何とか話そうとしている。
<b>書くこと</b>	<b>目標</b>	【知識】 受動態の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 日本のものを紹介することについて受動態を用いて、書く技能を身につけていく。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	日本のものを紹介することについて受動態を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	日本のものを紹介することについて受動態を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、日本のものを紹介することについて受動態を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、日本のものを紹介することについて何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson8 Talking about Dreams

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。</li> <li>将来の夢について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、伝え合う技能を身につけていく。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Share)
	<b>A</b> 将来の夢について、不定詞の名詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 将来の夢について、不定詞の名詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、将来の夢について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、将来の夢について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、将来の夢について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 将来の夢について不定詞の名詞用法を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	<b>A</b> 将来の夢について不定詞の名詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 将来の夢について不定詞の名詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、将来の夢について書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、将来の夢について不定詞の名詞用法を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、将来の夢について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、将来の夢について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson9 To Keep Fit

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の形容詞・副詞用法を正しく用いて表現することができる。</li> <li>健康維持について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 健康維持について、不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、伝え合う技能を身に付ける。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b> 健康維持について、不定詞の形容詞・副詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 健康維持について、不定詞の形容詞・副詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、健康維持について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、健康維持について、不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、健康維持について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、健康維持について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 健康維持について不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、書く技能を身に付ける。(Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> 健康維持について不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 健康維持について不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、健康維持について書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、健康維持について不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、健康維持について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、健康維持について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson10 Our Future Devices

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。</li> <li>・あるもの・人によって可能になることについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	<b>目標</b>	【知識】 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 ロボット・機器について、使役動詞・知覚動詞などを用いて、伝え合う技能を身に付ける。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	ロボット・機器について、使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	ロボット・機器について、使役動詞・知覚動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、ロボット・機器について、使役動詞・知覚動詞などを用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、ロボット・機器について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
書くこと	<b>目標</b>	【知識】 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 夢のロボットについて使役動詞・知覚動詞などを用いて、書く技能を身に付ける。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて、その機能と効果を論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて、その機能と効果を論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	夢のロボットについて使役動詞・知覚動詞などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて、その機能と効果を論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて、その機能と効果を論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	夢のロボットについて使役動詞・知覚動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、夢のロボットについて使役動詞・知覚動詞などを用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、夢のロボットについて何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson11 Talking about Likes and Dislikes

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>自分の趣味について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	<b>目標</b>	【知識】 動名詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 自分の趣味について、動名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	自分の趣味について、動名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	自分の趣味について、動名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、自分の趣味について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、自分の趣味について、動名詞を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、自分の趣味について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、自分の趣味について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
書くこと	<b>目標</b>	【知識】 動名詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 自分の趣味について動名詞を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	自分の趣味について動名詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	自分の趣味について動名詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、自分の趣味について書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、自分の趣味について動名詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、自分の趣味について何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、自分の趣味について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson12 Reporting Something Interesting

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>おもしろい人や生き物について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	<b>目標</b> 【知識】 分詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 人や生き物について、分詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b> 人や生き物について、分詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 人や生き物について、分詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、人や生き物について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、人や生き物について、分詞を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、人や生き物について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、人や生き物について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
書くこと	<b>目標</b> 【知識】 分詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 人や生き物について分詞を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	<b>A</b> 人や生き物について分詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 人や生き物について分詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、人や生き物について書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、人や生き物について分詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、人や生き物について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、人や生き物について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson13 Being in Trouble

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・トラブルの相談について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い，自分のことを伝え，相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	<b>目標</b>	【知識】 動詞＋名詞＋分詞，分詞構文の意味や働きについて理解している。 (Start-Up, Task) 【技能】 修理の依頼について，動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，伝え合うことができる。	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について，論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について，論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	修理の依頼について，動詞＋名詞＋分詞，分詞構文などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について，論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について，ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら，論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	修理の依頼について，動詞＋名詞＋分詞，分詞構文などを用いて，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように，修理の依頼について，伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば，修理の依頼について，動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば，相手にわかってもらえるように，修理の依頼について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば，相手にわかってもらえるように，修理の依頼について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
書くこと	<b>目標</b>	【知識】 動詞＋名詞＋分詞，分詞構文の意味や働きについて理解している。 (Task) 【技能】 トラブルについて動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，書く技能を身につけることができる。	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて，論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて，論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	トラブルについて動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて，論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて，論理性に注意して詳しく，自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	トラブルについて動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために，トラブルについて書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば，トラブルについて動詞＋名詞＋分詞，分詞構文を用いて，何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば，ほかの人に伝えるために，トラブルについて何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば，ほかの人に伝えるために，トラブルについて何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson14 Great Achievements

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・有名人や、その功績について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	<b>目標</b>	【知識】 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 あこがれの人について、関係代名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	あこがれの人について、関係代名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	あこがれの人について、関係代名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、あこがれの人について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、あこがれの人について、関係代名詞を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、あこがれの人について何とか伝え合おうことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、あこがれの人について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
書くこと	<b>目標</b>	【知識】 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 あこがれの人について関係代名詞を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	<b>A</b>	あこがれの人について関係代名詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	あこがれの人について関係代名詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、あこがれの人について書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、あこがれの人について関係代名詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、あこがれの人について何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、あこがれの人について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson15 What's "SDGs"?

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係副詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・時や場所について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 関係副詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 世界遺産について、関係副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b> 世界遺産について、関係副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合することができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について、論理性に注意して詳しく伝え合することができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 世界遺産について、関係副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合することができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について伝え合することができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、世界遺産について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、世界遺産について、関係副詞を用いて、何とか英語で伝え合することができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、世界遺産について何とか伝え合することができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、世界遺産について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>	<b>目標</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 関係副詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 おすすめの場所について関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。	<b>目標</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> おすすめの場所について関係副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> おすすめの場所について関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について書くことができる。	<b>B</b> 留学生にわかるように、おすすめの場所について書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、おすすめの場所について関係副詞を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、留学生にわかるように、おすすめの場所について何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、留学生にわかるように、おすすめの場所について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson16 Climate Change

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現を正しく用いて表現することができる。</li> <li>データや都市の比較について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	---

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b>	【知識】 比較表現の意味や働きについて理解している。(Start-Up) 【技能】 都市のデータ比較について、比較表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Start-Up)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Share)
	<b>A</b>	都市のデータ比較について、比較表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	都市のデータ比較について、比較表現などをを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、都市のデータ比較について、比較表現を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、都市のデータ比較について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
<b>書くこと</b>	<b>目標</b>	【知識】 比較表現の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 行ってみたい国と日本の比較について比較表現を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	<b>A</b>	行ってみたい国と日本の比較について比較表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	行ってみたい国と日本の比較について比較表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、行ってみたい国と日本の比較について比較表現を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、行ってみたい国と日本の比較について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson17 Food Waste

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・社会問題について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	<b>目標</b>	【知識】 最上級の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 社会問題について、最上級を用いて、伝え合う技能を身につけている。	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について、その原因・理由・解決法を交えて論理性に注意して話して伝え合うことができる。(Task, Share)	<b>目標</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について、その原因・理由・解決法を交えて論理性に注意して伝え合おうとしている。(Task, Share)
	<b>A</b>	社会問題について、最上級などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について、その原因・理由・解決法を交えて論理性に注意して伝え合うことができる。	<b>A</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、その原因・理由・解決法を交えて論理性に注意して自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b>	社会問題について、最上級などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について伝え合うことができる。	<b>B</b>	相手にわかってもらえるように、社会問題について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、社会問題について、最上級を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、社会問題について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、社会問題について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	<b>目標</b>		<b>目標</b>		<b>目標</b>	
	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	
	<b>B</b>		<b>B</b>		<b>B</b>	
	<b>C</b>		<b>C</b>		<b>C</b>	
書くこと	<b>目標</b>	【知識】 最上級の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 社会問題について最上級を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b>	社会問題について最上級を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b>	社会問題について最上級を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について書くことができる。	<b>B</b>	ほかの人に伝えるために、社会問題について書こうとしている。
	<b>C</b>	助けがあれば、社会問題について最上級を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、社会問題について何とか書くことができる。	<b>C</b>	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、社会問題について何とか書こうとしている。

# Harmony English Logic and Expression I

## Lesson18 Water Problem

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・違う人の立場に立って話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。</li> </ul>
-------------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと（やりとり）</b>	<b>目標</b> 【知識】 仮定法の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 願望について、仮定法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、願望について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task)	<b>目標</b> 相手にわかってもらえるように、願望について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task)
	<b>A</b> 願望について、仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、願望について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	<b>A</b> 相手にわかってもらえるように、願望について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意し、詳しく自ら進んで伝え合おうとしている。
	<b>B</b> 願望について、仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、願望について伝え合うことができる。	<b>B</b> 相手にわかってもらえるように、願望について、伝え合おうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、願望について、仮定法を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、願望について何とか伝え合うことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、願望について何とか伝え合おうとしている。
<b>話すこと（発表）</b>	<b>目標</b> 【知識】 仮定法の意味や働きについて理解している。(Share) 【技能】 違う人の立場に立って社会問題について、仮定法を用いて話す技能を身につけている。(Share)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について、論理性に注意して詳しく話している。(Share)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について、論理性に注意して詳しく話そうとしている。(Share)
	<b>A</b> 違う人の立場に立って社会問題について、仮定法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について、論理性に注意して詳しく話すことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題とについて、資料を見てアイコンタクトやジェスチャーを交えながら、自ら進んで概要を話そうとしている。
	<b>B</b> 違う人の立場に立って社会問題について、仮定法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について、話すことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について資料を見ながら概要を話そうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、違う人の立場に立って社会問題について、仮定法の表現を用いて、何とか英語で話すことができる。(または、Bに達していない。)	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について資料を見ながら概要を何とか話すことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、違う人の立場に立って社会問題について資料を見ながら概要を何とか話そうとしている。
<b>書くこと</b>	<b>目標</b> 【知識】 仮定法の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 国や地域、文化間の違いについて仮定法を用いて、書く技能を身につけている。(Task, Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	<b>目標</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	<b>A</b> 国や地域、文化間の違いについて仮定法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	<b>A</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	<b>B</b> 国や地域、文化間の違いについて仮定法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて書くことができる。	<b>B</b> ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて書こうとしている。
	<b>C</b> 助けがあれば、国や地域、文化間の違いについて仮定法を用いて、何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて何とか書くことができる。	<b>C</b> 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、国や地域、文化間の違いについて何とか書こうとしている。